

(4) 情報活用能力の育成に関する単元の指導計画・指導案

学校名	新潟大学教育学部附属新潟小学校	担当教員	教諭 小野 浩由
-----	-----------------	------	----------

○単元指導計画

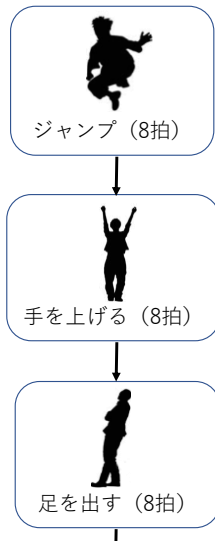
教科・科目	体育	学年	第2学年
教科書名	無し		
単元名	Let's ABC ダンス		
単元の指導目標 (教科について)	創作ダンス活動をとおして、軽快なリズムの音楽に乗って、弾んで踊ったり、友達と調子を合わせたりして踊ることができる。		
単元の評価規準 (教科について)	<p>自分で組み合わせた動きを、軽快なリズムに乗って踊ることができる。</p> <p style="text-align: right;">【知識・技能】</p> <p>軽快なリズムに乗って踊る簡単な踊り方を工夫し、考えたことを友達に伝えることができる。</p> <p style="text-align: right;">【思考力・判断力・表現力】</p> <p>リズム遊びに進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができる。</p> <p style="text-align: right;">【態度】</p>		

この単元において 育成する 情報活用能力	(知識・技能)	<p>基礎的な思考ツールの知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラ機能やロイロノート等といった、タブレット端末のアプリの使い方が分かる。
	(思考力・判断力・表現力等)	<p>目的達成や課題解決に必要な情報を収集・判断する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を取捨選択したり、動きのつながりを考えたりすることができる。
	(学びに向かう力・人間性等)	<p>情報を適切かつ有効に扱おうとする態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の情報の中から、課題解決に必要なものを取捨選択していこうとする。
(参考) この単元における ICT活用の ポイント	<p>ロイロノートを使用して、デジタル化された動きを組み合わせ一つダンスを創作する活動をとおして、動きのつながりを可視化でき、考えたことを友達に伝えることができる。</p>	

次	時数	主な学習活動 (○) と教師の手立て (◆)	情報活用能力育成の視点 (☆)
1	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のねらいと流れを知る。 ○ 楽しく学習するための約束を話し合う。 ◆ リズム遊びをどうすれば楽しく行えるかを話す。 <ul style="list-style-type: none"> ・安心して学習を進めていけるように、学習の約束をはじめの時間に確認する。 ○ いろいろな動き作りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・全身じゃんけん ・止まってポーズ ・条件付きポーズ ・まねしてポーズ 等 ○ いろいろな動物になって「ふ zoo く動物園」をつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ゾウが踊りながら鼻でバナナを食べる。 ・いたずら好きのさるが冒険に行く。等 <p>※独創的で印象に残る動きをしている子どもを手本として、なぜ印象に残るのか、どのような動きが面白くしているのか動きのコツを問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 前時まででに体験した様々な動きを基に、8拍で構成した動きをつくることを提案する。 ◆ 8拍の動きの例示を示す。 ○ 例示を全員でやってみて8拍のイメージをもつ。 ○ 6種類の動きを作り、ロイロノートに保存する。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ ロイロノートの使い方や操作方法が分かり、8拍で構成した動きを保存する。
2	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ ロイロノートに保存した6種類の動きを振り返る。 ◆ ひとつの動きの動画を8呼間で作成し、ロイロノートに保存しておく。6種類の動きを考え、保存する。タブレット端末を2～3人に1台配付する。 <p>※前時までの動きと動きのポイントを想起させ、簡単な動きにするよう指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 音楽は「ABC」であることを伝える。 <p>【本時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 前時で作った動きの動画をつなぎ、オリジナルのダンスを創作する。 ○ 6種類の動きから、4つ選び、グループで相談しながらつないで創作ダンスをつくる。 ◆ 「踊りやすいつなぎ方になっているか」「音楽に合ったつなぎ方か」を条件に、つなぎ直しながら繰り返し練習する。 ◆ 作品紹介の場を設定する。 ◆ 前時で作成したダンスにさらに動きを3つ加え、創作ダンスを完成させることを提案する。 ◆ 作品紹介の場を設定する。 ○ 創作ダンスの作成と練習をする。 ○ 感想を伝え合う。 ○ 振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ ロイロノートを活用して、踊りやすいつなぎ方を工夫したダンスが創作できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">【6種類の動きの例】</p> <p style="text-align: center;">①ジャンプ ②腕を広げる ③回る ④手をたたく ⑤キック ⑥足踏み 等</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 必要な情報を取捨選択したり、つながりを考えたりして、ダンスを考える。 ☆ ダンスに入れる4つの動きを選択判断し、ロイロノートでつないで表す。 ☆ 動きのアレンジをした創作ダンスを動画に撮り、うまくできているかの確認をする。

○学習指導案（4／6時間目）

日時	H29年11月10日(金)	クラス	2年2組(35人)	指導者名	教諭 小野 浩由
教科・科目	体育		教科書・教材	F 表現リズム遊び イリズム遊び	
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスに入りたい動きを選び、動きのつながりを考えて、一連のダンスをつくることができる。 ・友達と協力しながら、自分たちで考えた動きを再現することができる。 				
本時で育成する情報活用能力	<p>目的達成や課題解決に必要な情報を収集・判断する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートに保存した6種類の動きの中から、視点と条件に合ったダンスを取捨選択したり、つながりを考えたりして、一連の動きを組み合わせたダンスをつくることができる。 				

過程	学習活動	指導内容（留意点）	形態	情報活用能力育成のポイント
導入 8分	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスに使用する音楽「ABC」を聞く。（全部は聞かず本時で踊る時間分のみ聞く） 	<p>発問</p> <p>「この前は6種類の動きをロイロノートに録画しましたが、これらをどうしたいですか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時で作った6種類の動きの動画をどうしたいか問い、動きをつなげた一連のダンスをつくるという見通しをもたせる。 	一斉	
展開① 22分	<ul style="list-style-type: none"> ・6種類の動きの動画から、4つの動きを選ぶ。 ・グループで相談しながらつないで、創作ダンスをつくる。 ・ロイロノートで4つの動きをつなぐ。 ・2～3グループのつながり方を全体で確認する。 ・つながり条件を知り、ダンスのつながりを再確認する。 ・作成したダンスを見な 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◎ 4つの動きの動画をつないで、オリジナルダンスをつくろう。</p> </div> <p>指示</p> <p>「6つの動きのうち、使ってよいのは4つまでです」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6種類の動画から4種類を選択してつなぐという条件を与える。 <p>指示</p> <p>「○班のダンス動画を見てみましょう」</p> <p>発問</p> <p>「なぜこうしたのですか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発言を板書する。 ・創ったダンスの視点を発表させる（テレビ画面に大きく映す） <p>①踊りやすさ</p> <p>②音やリズムにあわせているか。</p>	グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートに保存した、動きをつなぎ、ダンスを考える。 ・踊りやすいよう一連の動きのつながりを考えてダンスを組み立てたり、動きに工夫を入れる場面をどこにするかを考えたりする。 

	<p>がら練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 動きのつながりがうまくいかなかったり、動きの工夫をとりいれたりできそうなときは、修正をして練習する。 	<p>指示</p> <p>「〇班の視点を参考にもう一度、ダンスをつくりましょう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 条件に合わせて動画をつなぎ直しながら繰り返し練習する場を設定する。 ダンスの練習をしていく中で、動きの工夫を取り入れたグループがあれば称賛する。 		
<p>展 開 ②</p> <p>10 分</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループの発表を行い、お互いの動きを見合う。 感想を伝える。 	<p>指示</p> <p>「どんなダンスができあがりましたか。兄弟グループに披露しましょう。お互いによかった点を伝え合いましょう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 兄弟グループで作品紹介の場を設定する。 音楽は教師が一斉に流す。 1人1回必ず感想を伝えることを指示する。 	一 斉	
<p>ま と め</p> <p>5 分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習カードに振り返りを書く。 	<p>指示</p> <p>「動画をつないでダンスをつくる活動はどうでしたか。工夫したことなどを振り返りましょう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 振り返りカードを配付する。 創作したり、友だちのグループの作品を見たりして、分かったこと、できたこと、この次にやってみたいことなどを、記述する振り返りカードにする。 	個 別	<ul style="list-style-type: none"> 自他の作品を振り返り、条件に合ったつながり方ができたか自覚できるようにする。